

やすらぎ

京都市立病院
広報誌

2018・4

春



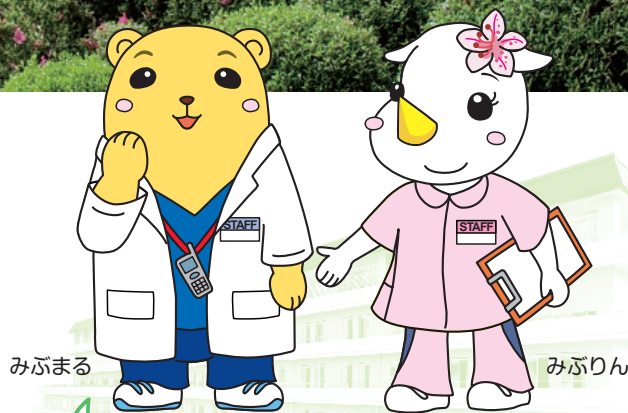
詩仙堂(左京区) 撮影©中田 昭

—特集—

小児科のご紹介

子どもが春から夏にかかりやすい病気について

- ◆ この春から体制が変わりました!
- ◆ ロボット支援手術について
- ◆ がん治療とお口のケア
- ◆ 日本医療マネジメント学会京滋支部学術集会を開催しました!
- ◆ MRI装置が新しくなりました!!



みぶまる

みぶりん

みぶまる・みぶりんのことを
知りたい方は、当院ホームページ
をご覧ください



地方独立行政法人 京都市立病院機構

京都市立病院

当院小児科の特色について

当院小児科では、10名の小児科専門医および数名の若手医師(小児科専攻医)により、急性、慢性の小児疾患のほぼすべての分野の診療を行っております。当院では、いくつかの特色があります。



小児科 部長
岡野 創造

- ① 小児科医のなかで血液専門医が4人おり、そのうち2人は小児血液・がん専門医の資格も持っています。

市中病院では珍しく白血病などの血液疾患や悪性腫瘍を診療しています。

小児科の入院病棟にある2つの無菌室を利用して平成5年から造血細胞移植により、難病の治療も行っています。すでに100人以上に移植しています。

- ② 小児神経専門医が2人おり、400人以上のてんかん患者をはじめ様々な脳・神経の疾患を診療しています。24時間体制でてんかん発作にも対応しています。最近相談が増えつつある、自閉症スペクトラムや注意欠陥・多動性障害などの発達障害もカウンセラーと連携しながら診療しています。

- ③ 京都府下の小児科では唯一夜尿症の専門外来を設けており、腎臓専門医が時間をかけて丁寧に相談、治療にあたっています。

- ④ 最近増えつつある食物アレルギーに対応すべく、日帰り入院で食物経口負荷試験を年間100人以上に行っています。その際アナフィラキシーなどのアレルギー反応に迅速に対応できるように、医師がそばに付き添っています。

- ⑤ 救急室では、24時間体制で小児科医が小児救急に応じており、年間6,000人弱の患者さんを診療しています。

子どもたちが安心して入院していただくために……………

① 院内学級わかば

入院中、治療を受けている子どもたちが安心して学校の勉強を受けていただくために、院内学級を設置しています。学校の先生とも協力して、勉強だけでなく、子どもたちと先生がイベントを企画したりしています。例えば、夏まつりイベント(ボーリングの実施)を計画し、遊びの機会を提供しました。また、みんなで一緒にハンドベルの演奏を楽しんだこともあります。

② 病棟保育士・小児科ボランティア・おやつのイベントなど

安心して治療を受けていただくために、病棟保育士を配置し、生活や遊びの支援を行っています。また、小児科ボランティアさんにも来ていただき、遊びの場を提供しています。

親子で遊んだり、一緒に工作を行うことで、子どもたちにとって精神的な負担が大きい入院生活を軽減し、少しでも笑顔で過ごせるような環境を整えています。また、入院生活の楽しみの1つである食事についても、行事があるときにちなんだおやつの提供を行っています。例えば、夏頃にはかき氷を提供し、その場でみんなで一緒に食べたりしています。



子どもが春から夏にかかりやすい病気について

子ども同士は遊んで、家族は語ろう

小児がん患者交流の場

当院では、昨年度より、小児がん患者の子どもたち同士の交流と、その家族の交流の場を設けています。同じ病気を持つ子どもたちが一緒に遊んでいる間、ご家族の方には対話の場を提供しています。子どもたちには院内のプレイルームで同じような病気の子もたちと遊ぶことによって、社会性を促す機会となっています。また、ご家族の方には、気持ちの共有や生活上の情報交換を行っていただくことで、少しでも前向きに治療に臨んでいただけたらと思っています。また、語り合うだけでなく、ストレッチを行うなど心身ともにはぐくむサポートを行っています。子どもたちだけでなく、家族にとってもほんの少し気分転換ができるよい機会となっています。



血液疾患の患者さんを
集めた場所

子どもが春から夏にかかりやすい病気

春は、気温の変化だけでなく、入園や入学等、集団生活のはじまりや環境にも変化があることから、体調をくずしやすい季節です。ここでは、特に気をつけたい病気についていくつかご紹介させていただきます。また、子どもだけでなく大人もかかる可能性が十分にありますので、注意してください。

①溶連菌感染症

全身に赤い発疹が表れ、のどの痛み、高熱が出ます。舌に赤いぶつぶつができることもあり、「いちご舌」と呼ばれることもあります。また嘔吐などの症状を伴うこともあります。

②手足口病

主に夏頃流行する感染症で、手足に水疱ができ、口内炎もできます。また、口内炎ができることから、食事が摂りにくく、脱水症状を起こしやすいので気を付けてください。

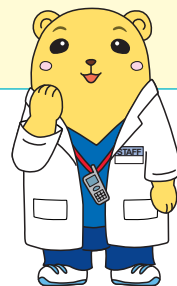
③百日咳

名前のとおり長期間咳が続きます。はじめは普通の風邪のような症状ですが、時間の経過とともに咳が悪化してきます。2～3週間後には、短い咳の連発で、呼吸困難になったり、嘔吐を伴うこともあります。

④ヘルパンギーナ

特にのどが痛くなり、子供たちもご飯を食べられないほど痛くなります。普段の食事を摂れないようになり、脱水症状をおこすこともあります。

外から帰ってきたら、手洗い、うがいをして
病気を予防しようね。



この春から体制が変わりました!

新任理事の紹介

平成30年4月から京都市立病院機構の理事・体制が変わりましたのでご紹介いたします。これまで以上に、医療の質の向上を目指し、市民の皆様により安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。



半場 理事

4月から京都市立病院機構の理事(看護担当・市立病院副院長、市立病院看護部長)に就任しました。市立病院では6年勤務し、職員教育、医療の質向上に向けた様々な取組を実施してまいりました。今後とも、患者さん中心の最適な医療を提供し、地域の皆様から選ばれる病院を目指していきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



松本 理事

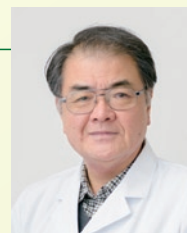
4月から京都市立病院機構の理事(経営管理担当・経営企画局長・市立病院事務局長)に就任しました。就任前は、京都市役所で37年勤務し、地球温暖化対策をはじめとした環境活動への取組や、防災に関する仕事に従事しておりました。病院での勤務は初めてではございますが、地域の皆様にとって安心で最適な医療を提供できることを第一に考え、取り組んでまいります。

体制の強化

1. 周術期統括部門の設置

周術期統括部長 荒井俊之

周術期(手術前・手術中・手術後)の医療の質向上を図るため、周術期統括部を設置しました。周術期統括部には、手術を実施する手術センター、手術における麻酔管理を行う麻酔科、術後痛等様々な痛みをコントロールする疼痛管理科、ICU(集中治療室)において重篤な患者さんの治療を行う集中治療科を設置しています。患者さんに安心して手術を受けていただくために、多職種と連携して切れ目のない医療を提供してまいります。周術期統括部門の強化を行ったことで、ロボット支援手術など先進的医療にも積極的に取り組んでまいります。



2. 輸血療法センターの設置

血液内科輸血・造血幹細胞移植科 部長 伊藤 満

通常の化学療法等の治療では根治が難しい血液疾患に対して行う造血幹細胞移植の症例数が年々増加しているため、新たに輸血・造血幹細胞移植科を設けました。造血幹細胞移植症例の管理や、病院全体の輸血業務管理(輸血製剤の検査や出庫、輸血投与量・輸血副作用・輸血後感染症検査などの管理)の強化のため、これまでの輸血部を拡充し、輸血療法センターを設置しました。



※造血幹細胞:血液のもととなる細胞で、骨の中心部にある骨髓や、赤ちゃんの胎盤・^{へそ}臍の緒の血液(臍^{さい}帯血)中に豊富に含まれる。

3. その他の取組 ~地域医療連携室の強化など~

地域の医療機関や関係機関との結びつきを強化するため、新たに地域包括ケア統括保健師を設置しました。また、法人の役割・医療機能を最大限発揮するために内部統制・監査室を設置し、効果的かつ効率的に業務を行うための仕組みを整理しました。

腹腔鏡手術とともに
ロボット支援手術にも
取り組んでいます！

ロボット支援手術について

当院外科では、腹腔鏡手術に、ロボットの優位性を活かした
高度の手術手技を、早くから積極的に導入してきました。

2018年4月からロボット支援胃がん手術が保険適応となります。
これにより、最新のロボット支援手術を、従来の手術とほとんど
変わらない負担額で受けていただくことができるようになりました。



外科
細木 久裕

胃がんについて

日本人の死因のトップである「がん」のなかで、胃がんは男性で1位、女性で3位と、罹患率の高いがんです。胃がんは、自覚症状が少なく、かなり進行していても症状が出にくいことがあり、早期発見・早期治療を行うには検査が必要です。早い時期から治療に専念できれば、胃がんは克服することができます。

胃がん治療の選択

胃がんの治療には、手術、内視鏡治療、薬物療法があります。手術には、大きく分けてお腹を開いて直視下に行う開腹手術と、現在主流となっている腹腔鏡手術があります。腹腔鏡手術とは、お腹に小さな穴（5-10ミリ程度）を開け、内視鏡（カメラ）で見ながら行う手術です。この腹腔鏡手術の中でも、最新の技術と機器を用いて行うのがロボット支援手術です。

ロボット支援手術の利点

直線的な器具を用いて行う従来の腹腔鏡手術と異なり、ロボット支援手術では多関節機能を有する器具を用います。3Dモニターも駆使し、より精細なリンパ節の摘出が可能です。消化管再建（食道や胃と腸をつなぐこと）も、より安定して安全に行うことができます。開腹手術と比較すると、傷口が小さい分痛みも少なくてすみます。手術時間は、胃の2/3を切除する手術で4-5時間程度、胃を全摘する手術で5-6時間程度です。入院期間はおよそ10日から2週間が目安です。

治療後の生活

食事は一回量が減りますが、回数を分けて食べていただくことで対応が可能です。術後も責任を持って外来で経過を診させていただきます。





歯科衛生士が教える



南 歯科衛生士

がん治療とお口のケア

がん治療の主なものに、手術・放射線・化学療法があります。

そして、がん治療中にはからだに様々な副作用が現れます。お口の中も例外ではありません。口内炎、歯が原因の感染、口の渇き、味覚障害などからお口から食べ物や水を十分摂ることができなくなります。その結果、体力が急速に低下してしまい、がん治療を一時的に中断することもあります。

こうしたお口のトラブルを未然に防ぎ、症状を軽くするためには、がん治療開始前に歯科医院を受診してお口のチェックを受けることが大切になってきます。

歯石の除去、むし歯の治療、歯周病の治療、歯みがき指導を受けましょう。

それでもがん治療での副作用が全く現れないようにするのは難しいですが、感染症を予防するうえで口を清潔にすることは、非常に重要な役割を担っています。

当院へ入院されている患者さんには、主治医の先生からの依頼を受け、歯みがき指導、歯石の除去など、お口の管理を行っています。

★歯みがきでの注意点（歯みがき・うがいは絶対必要です!!）

口内炎の痛みで歯みがきできないときは、ハブラシヘッドの小さい毛の軟らかいハブラシを使うことで、奥歯までとどき粘膜にあたれません。歯みがき剤は、刺激の少ないもの、うがい薬はノンアルコールのものをおすすめします。うがいは、ぶくぶくと口全体に広げながらおこないます。

また、口唇・お口の粘膜を乾燥させないようにすることも大切です。乾燥が強い場合はジェルタイプの保湿剤が効果的です。

入れ歯を使われている方については、入れ歯は毎食後取りはずし、ブラシでみがきます。夜間など入れ歯を使わない時は、洗浄剤につけておきます。入れ歯ケースは1日1回洗うようにしましょう。かかりつけ歯科をもち日頃からお口のメンテナンスを心がけましょう。



日本医療マネジメント学会京滋支部学術集会を開催しました！

平成30年2月17日(土)、京都テルサにおいて当院の森本院長が当番会長として第15回日本医療マネジメント学会京滋支部学術集会を開催いたしました。テーマは「医療の質の向上～地域から選ばれる病院になるため～」とし、特別講演、ランチョンセミナー(3題)、一般演題発表(133題、うち市立病院から33題を発表)の講演・発表が行われました。



一般演題発表の様子

特別講演では、公益社団法人全国自治体病院協議会会長の邊見公雄先生から「『^{いのち}生命輝かそう京滋の医療人』～トリレンマを乗り越えて～(全員参加の病院づくり)」をテーマに、現在の医療界が抱える課題や今後の展望を横断的にお話いただきました。

また、ランチョンセミナーでは、「認知症対応」・「がん治療と就労支援」・「地域医療連携」というタイムリーなトピックを切り口として、第一線で御活躍されている先生方にお話いただきました。いずれの会場でも参加者に地域から選ばれる病院とは何かを問いかける熱のこもった講演をいただきました。

当日はお忙しい中、全体で350名を超える方に御参加いただき、本学術集会は盛会のうちに終了しました。御協力いただきました関係各位には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

MRI装置が新しくなりました!!

この度、当院で保有している2台のMRI装置のうちの1台を更新いたしました。新しいMRI装置は、3テスラの磁場を有しています。従来の1.5テスラから3テスラへ磁場強度が2倍になることで、より高画質な検査画像を提供することが可能となりました。

また、装置のトンネル部分が約10cm広くなったことで、圧迫感が軽減され、体格の大きな方や閉所恐怖症の方にも検査を受けていただきやすい環境になっており、検査室も明るく開放的で快適な空間を感じていただけるように改装いたしました。

引き続き、スタッフ一同安全かつ安心な検査を提供できるように努めてまいります。

*ただし、検査内容や状況によっては、3.0テスラMRI装置で撮像できない場合や、1.5テスラMRI装置での撮像が適している場合があります。



【1.5テスラMRI】従来の標準的な広さ



【3テスラMRI】10cm広くなり圧迫感が少ない!

健康教室「かがやき」

「健康はつくるもの」です。一人ひとりが健康づくりに取り組み健康に過ごしていただけるように、健康づくりを応援する当院各科講師による健康教室を開催します。

- 日 時 毎月第3金曜日 午後2時30分～午後3時30分
- 場 所 北館7階ホール2
- 定 員 先着順50名(予約不要)

5月18日(金)

『ストレッチから始まる運動療法』

6月15日(金)

『広げたい 乳がんの知識』

7月20日(金)

『かかりつけ医って本当に必要？ ～病院と診療所の役割～』

禁煙教室 ～吸う人も吸わない人も知って得するタバコの不思議～

タバコ煙の成分やニコチン依存症のしくみ、タバコによる健康被害、禁煙のコツなど、様々な視点から話をします。禁煙希望者には医師などが具体的なアドバイスを行うほか、その場で当院の禁煙外来を予約することができます。

- 日 時 毎月第2金曜日 午後2時～午後3時
- 場 所 北館7階ホール2
- 対 象 京都市立病院に入院や通院している方に限らず、禁煙に興味のある方ならどなたでも

糖尿病教室

糖尿病は、療養を怠ると数多くの恐ろしい合併症が現れる反面、適切な治療を続けていれば、健康な人と変わることなく生活することができます。糖尿病についての正しい知識を持って、糖尿病と向き合っていきましょう。

- 日 時 毎月第3木曜日 午後3時～午後4時
- 場 所 北館7階ホール1

5月17日(木)『今日からはじめる食事療法!』

『いつまでも元気にいられるための運動療法』

6月21日(木)『ガッテン 治療を支えるお薬の話 ～内服薬編～』

『これであなたも大丈夫
～糖尿病とうまく付き合うコツ～』

7月19日(木)『糖尿病の合併症

～三大合併症から認知症まで～』

『お口のケアから見直す糖尿病』

がん患者・家族のサロン「みぶなの会」

がんで療養中の患者さんとそのご家族の集まりです。患者さん同士で、色々な悩みをお話したり、情報交換ができます。人と話をしたり、話を聞くだけでも、気持ちが軽くなるものです。気軽な気持ちでご参加ください。

- 日 時 毎月第3水曜日 午後1時～午後3時30分
毎月第4水曜日 午後1時～午後3時30分
- 場 所 北館7階サロン
- 対 象 がん患者さん及びそのご家族

敷地内全面禁煙



路上喫煙はやめましょう!

喫煙はマナーを守って決められた場所で。



送迎バス時刻表(無料・予約不要) ※平日のみ(土日祝・年末年始は運休)

時間	京都市立病院 ～出発～	阪急西院駅 (TSUTAYA前)	JR丹波口駅 (ユニクロ前)	京都市立病院 ～到着～
8時	30	35	45	50
9時	00 30	05 35	15 45	20 50
10時	00 30	05 35	15 45	20 50
11時	00 30	05 35	15 45	20 50
12時	00 30	05 35	15 45	20 50
13時	00 30	05 35	15 45	20 50
14時	00 30	05 35	15 45	20 50
15時	00 30	05 35	15 45	20 50
16時	00 30	05 35	15 45	20 50

当院のことをもっと知りたい方は、詳しくは、京都市立病院のホームページをご覧ください。



やすらぎ 2018・春号 2018年4月20日発行

発行：京都市立病院機構 京都市立病院

〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1番地の2

TEL 075-311-5311

FAX 075-321-6025



京都市立病院

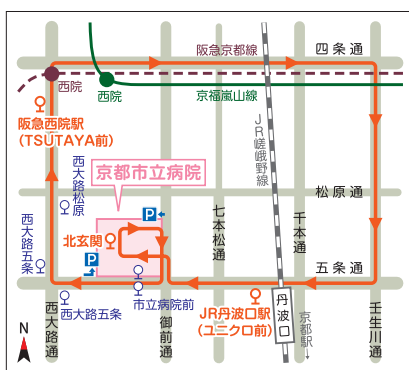
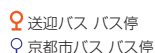
〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1番地の2

TEL 075-311-5311(代)

FAX 075-321-6025(代)

<http://www.kch-org.jp/>



京都市立京北病院

〒601-0533

京都市右京区京北下中町鳥谷3番地

TEL 075-854-0221(代)

FAX 075-854-0825(代)

<http://www.kch-org.jp/keihoku/>

